

実は身近な発達障害

援助を求める力と合理的配慮 —『困った』を伝える・受けとめる—



発達障害は見た目では分かりにくく、困りごとや必要なサポートは一人ひとり異なります。自分自身を知り、「困った」「助けてほしい」という気持ちを周りに伝える「援助を求める力」は、毎日をより過ごしやすいようにする大切な力です。また、援助を求め応じてもらう経験は、やがて「合理的配慮」へとつながっていきます。本講演会では、合理的配慮とは何かを再確認し、援助を求めることの大切さや「困った」の伝え方・受けとめ方について考えます。



2026
11/14 土
午後1時から午後4時
(受付は0時30分から)

参加
無料

手話通訳
要約筆記
あり

定員
600名

応募者多数の場合は抽選
抽選結果は10月下旬頃通知予定

会場 鯉城ホール

名古屋市中央区栄一丁目23番13号 伏見ライフプラザ内

地下鉄伏見駅 6 番出口から南へ徒歩 7 分、
地下鉄大須観音駅 4 番出口から北へ徒歩 7 分

※会場へは公共交通機関をご利用ください



講師

阿部 利彦 さん

星槎大学大学院教育実践研究科教授

佐々木 銀河 さん

筑波大学人間系准教授

司会

渡邊 晶子 さん

フリーアナウンサー

申込方法は裏面へ
9/30 (水) 申込締切

講師プロフィール



阿部 利彦 さん

星槎大学大学院
教育実践研究科教授

専門は特別支援教育、教育相談。

『「援助を求める力」を大切にする支援』（中央法規,2025）では、子どもや家族、先生も安心して「困った」と言える環境づくりの重要性を提唱。「支援する側・される側」という垣根を越え、誰もが自分らしく生きる「場づくり」を応援する「人的環境のユニバーサルデザイン」化に取り組んでいる。



佐々木 銀河 さん

筑波大学
人間系准教授

博士（障害科学）。公認心理師。臨床発達心理士。発達障害のある学生をはじめ、障害のある人が学びや就労、生活の中で必要な支援を受けられるよう、合理的配慮に関する研究や実践に取り組んでいる。主な著書に『発達障害のある大学生のアセスメントー理解と支援のための実践ガイド』（金子書房、共編著）などがある。

申込方法

下記のどちらかの方法で**令和8年7月27日(月)から令和8年9月30日(水)までに**お申し込みください。

①電子申請

右のQRコード（名古屋市電子申請サービス）から

1名ずつお申し込みください。

※当所のホームページにも案内を掲載しています。

リンクす名古屋 研修案内



②往復はがき

- 往復はがき 1 通につき、**1名ずつ**お申し込みください。
- 令和8年9月30日（水）当日消印有効**です。
- 車いす席等、配慮が必要な方は⑤配慮事項にお書きください。

【記載例】

85 往信	466-0858 名古屋市発達障害者支援センター リンクす名古屋宛	この面には、 何も記入しないでください。 ※参加の可否をお知らせします。	85 返信	〇〇〇-〇〇〇〇〇〇 申込者ご本人のお名前 申込者の住所	11月14日講演会 参加希望 ①氏名（ふりがな） ②住所 ③電話番号 ④職業 ⑤配慮事項
往信おもて		返信うら	返信おもて		往信うら

◎はがきの額面は85円です。
◎返信先の郵便番号も忘れずにご記入ください。

問合せ先

名古屋市発達障害者支援センターリンクす名古屋
〒466-0858 名古屋市昭和区折戸町4-16

※悪天候等により中止又は内容を変更する場合があります。ご了承ください。

電話番号：052-757-6140
（平日午前8時45分～午後5時15分）